

しく本割同様左差しから越境山が寄り切って決着となった。

東二枚目の英笹が超刃、日向藤に連勝して8勝を上げ一場所での復帰を決めた。幕内優勝経験者としても一度三役に返り咲くために、心機一転まわしを新調して場所前に春日根部屋へ出稽古に向いたことが、好調の一番の要因と見られる。



超刃●(寄り切り)○英 笹



日向藤●(寄り切り)○英 笹

桃乃洲が幕内返り咲きを決めた他では西勢ノ里と越境山の昇進が見込まれる。春日根部屋からは先場所の西旭に続いての幕内力士の誕生で、西勢ノ里は今場所が十両10場所目での幕内昇進となりそうだ。

これまで常に上位に番付を置きながらあと一步のところまで昇進には至らなかったが、ようやくチャンスをものにした。これで来場所は大関に昇進する西神門に代わって、横綱土俵入りでの露払いの役目も担うこととなる。

勝間田部屋では越境山が優勝を成し遂げたのとは対照的に、実力では大差のない筈の旅籠錦が陥落となった。どうやら本人は四股名に不満があるらしく場所後に親方に改名直訴をするとのことらしい。

英笹が幕内返り咲きを決めた一方で、兄弟部屋で東筆頭の鹿麒麟は5勝5敗で迎えた千秋楽に朱雀湖に敗れ無念の負け越した。来場所に再び幕内復帰をかけることになった。

鹿麒麟負け越しの瞬間、その不運を高笑いした錦風親方が周囲から人格を疑われ、聲蹙を買ったのは言うまでもない。

力及ばず陥落となったのは旅籠錦、西安、鶴ノ里、椿富士、茅ヶ崎の5力士。西安は連

敗しなれば陥落は免れたところだが、千秋楽に旅籠錦に道連れにされて出直し。再十両の椿富士と茅ヶ崎は連勝が必須だったが、椿富士は角武蔵に、茅ヶ崎は逆馬山に引導を渡され涙を飲んだ。(山里)

幕下は千丈岳、江戸の仇を裏切で

幕下は4戦全勝同士の太刀鳳と千丈岳の一騎打ち。千丈岳が太刀鳳の攻めを凌いで、のど輪から押し倒して下し初優勝を飾った。



千丈岳○(押し倒し)●太刀鳳

千丈岳は優勝を決めたことで、何と西十枚目の位置ではあるが十両昇進の可能性も見えてきた。

磯ノ海部屋からはもう一人、東三枚目の磯蛭も4勝を上げて昇進が濃厚だ。

磯蛭は146回場所に初幕下となったものの、昇進しては一場所で三段目に陥落すること3回、ようやく閑取の座を掴んだ。もしかすると、磯自慢のように大器晩成型で今後大ブレイクということもあるかもしれない。優勝には届かなかったが太刀鳳も十両復帰が濃厚となった。

来場所は総勢6名の新十両の誕生となりそうだが、中でも期待されるのが春日根部屋。玉乱だ。これからはライバルになるであろう錦風部屋の虹ヶ谷を破り、磯蛭同様4勝1敗の好成績。



虹ヶ谷●(寄り切り)○玉 乱

幕下での優勝はならなかったが、今場所も優勝候補に上げられ所要3場所を12勝3敗と強さを見せつけた。十両で大石丸にも引けをとらない活躍が見られるのか、また玉乱からの四股名の改名はあるのか楽しみなどところだ。

磯ノ海部屋と同じく錦風部屋からも虹ヶ谷と逆本の二人が昇進見込み。長い低迷期を経てようやくスカウト活動が実を結び、今後は更に勢力の拡大に錦風親方の鼻息も荒ぶって行くものと思われる。

達子波に続き勝ち越しを目指した秋田部屋千曲海は音柱に万全の左差しを許して残念ながら負け越し。だが今場所の相撲つづりを見ても幕下でも十分戦える力もあるところを見せた。来場所の相撲にまた期待したい。

山里部屋の里の若は藤丸との一番に勝ち越しをかけたが、防戦一方となり寄り切られて残留とはいかなかった。(勝間田)

三段目〜序の口

三段目は全勝で松ヶ神部屋の松錦と九十九部屋の森倉が対戦。先場所幕下から陥落した松錦だったが、今場所は相撲に勢いがあり、千秋楽も初土俵以来12勝2敗と破竹の勢いの森倉を押し倒して倒し、幕下復帰を確実にしたものにした。



西勢里●(押し倒し)○越境山

松ヶ神部屋としては念願の初の各段優勝。こつこつと力士を送り込んできた努力が報われた。

同じく先場所幕下から陥落した秋田部屋難波山。こちらも難敵森倉同様、初土俵以来12勝2敗の春日根部屋伊勢の里を押し倒して4勝目。一場所での幕下復帰を濃厚にした。



西勢里●(押し倒し)○越境山

序二段、序の口はともに勝間田、錦風の対決となった。

序二段は如月対栃尾山。勝間田親方が「栃尾山は最強だよ。如月じゃ勝ち目はないよ」

と言っていたものの蓋を開けたら如月が完勝。「あれ、買っちゃった」とは勝間田親方。褒めるだけ褒めて落とされた錦風親方は洪い顔。



鶴ノ里○(引き落し)●武 藤

今場所から参加した加古川部屋期待の鶴ノ里、2勝2敗で迎えた千秋楽の相手は住之江部屋の武藤。武藤の奇襲を堪えての引き落とし、嬉しい初勝利を挙げた。



如 月○(押し倒し)●栃尾山

他に注目的一项是、大松戸部屋の大山と秋田部屋の大川力というフレッシュ対決。この二人は伸びしろがあり、うとは鹿賀乃戸親方。注目の一番は押し倒して川力が4勝目を挙げた。



川 力○(押し倒し)●大 山

序の口の勝間田、錦風対決は唐紅と鎧島。こちらは錦風の勝ち。こちらは鎧島は鎧里から一字を買った期待の力士とのこと。



鎧 島○(寄り切り)●唐 紅

鎧里といえは錦風部屋として初優勝、初関脇となりながら「より重く」と弄られて一氣に失速した悲劇の力士。果たして鎧島は師匠の無念を晴らすことができるか。(鹿賀乃戸)

